

福島の子どもたちのために世田谷の私達ができること！

ふくしまっ子リフレッシュin世田谷

2026年・春 3月27日～3月31日 4泊5日

Part 29



記念撮影@羽根木プレーパーク(2025年3月・春のリフレッシュ)



東日本大震災と福島の原発事故から2026年3月で15年を迎えます。いわれのない放射線の被害を受けた子どもたちに対して何ができるだろうかと考え、区内のグループや個人がネットワークを組んで、福島の子どもたちが世田谷区内に宿泊し、砧公園や羽根木プレーパークなどの公園で思いっきり外遊びを楽しんでもらうプロジェクト、「リフレッシュin世田谷」を2012年春から実施してきました。コロナ禍による中断はありましたが、この春で29回目となります。あの大事故のことは忘れ、原発も再稼働される今ですが、福島の状況は復興からは程遠く、子どもたちの甲状腺異常の今後の影響も懸念されることを私たちは知っています。「忘れない」、そして「福島の現状」を知るために、区民と世田谷区との「参加と協働」の事業にご理解とご協力をいただき、参加していただければ幸いです。

この活動を安定的に続けられるように
ボランティアを募集しています。

お問い合わせ、応募は以下のメールアドレスへお願いします。ホームページには過去の活動の様子も掲載していますのでご覧ください。

【メール】 fuku.seta.tomoni@gmail.com



【ホームページ】
<https://savefukukids.jim-dofree.com/>



学習会「教えて小豆川せんせい！

～測って見てわがった福島の今と未来～

Part 2

3月30日(月) 16:00～18:00

【会場】 **大蔵第二運動場** (世田谷区大蔵4丁目7-1)
※詳細は参加者の皆様に改めてご案内いたします。

【参加費】 **無料** 【定員】 **先着20名まで**

【登壇者】 **小豆川勝見さん**

【申込み】 右の2次元コード、または下記メールアドレスからお申し込みください。



fuku.seta.tomoni@gmail.com

①お名前 ②電話番号(当日連絡用)を明記してお申し込みください。

「ふくしまっ子リフレッシュin世田谷」の期間中、福島のご家族と世田谷に暮らす私たちが、共に福島の現状について学習し、交流を深める機会を二年前から作ってきています。前回のリフレッシュでの小豆川勝見先生のお話は、目を輝かせて聴きいていた子どもたちに先生のような研究者になりたいと思わせるようなものでした。15年前から福島に通い、調査を続けていらっしゃる先生に、今回も「福島の今」、そして「これから」を語っていただきます。この機会に子どもたち、そして大人たち、多くの世田谷区民のみなさまの参加をお待ちしています。

【小豆川勝見(しょうずがわかづみ)さんプロフィール】

東京大学 大学院総合文化研究科 助教。専門は放射線測定。帰還困難区域の汚染状況を測定し、除染がどうすれば早く進むかを研究する傍ら、福島県の小中学校などで子どもたちに放射線についての授業を行っている。2016年12月から2025年3月まで世田谷区教育委員会放射線アドバイザー、2018年11月から現在に至るまで大熊町除染検証委員を務める。



【主催】福島の子どもたちとともに・世田谷の会

【共催】世田谷区、世田谷区教育委員会 【協力】社福)世田谷ボランティア協会、社福)世田谷区社会福祉協議会

福島の子どもたちとともに・世田谷の会は、2012年より世田谷区内の20の市民団体がつながりスタート。世田谷区と世田谷区教育委員会等の協力を得て、外遊びが十分にできない福島の子どもたちと家族が世田谷で過ごす「ふくしまっ子リフレッシュin 世田谷」を長期休みに実施してきました。これまでに28回、延べ1,410名が参加しました。また、福島の現状を知るために講師を招いて講演会を22回開催しています。

2025年 春の リフレッシュ報告

4泊5日で4家族11名と福島からのボランティア高校生1名を受け入れました。宿舎が通常よりも一部屋少なく、インフルエンザによるキャンセルもあったので、少し寂しいリフレッシュとなりました。初日が荒天で東北新幹線が止まり、到着が大幅に遅れた方もいましたが、なんとか無事に実施できました。



焼きマシュマロ@羽根木プレーパーク



外遊び@羽根木プレーパーク



外遊び@砧公園

- 3/26(水) 到着、お花見歓迎会
- 3/27(木) 羽根木プレーパーク
- 3/28(金) 世田谷線ツアー・砧公園遊び、学習会
- 3/29(土) 自由行動、お別れお茶会
- 3/30(日) 解散



世田谷線ツアー@豪徳寺

おそとで
たくさん
あそんだよ!

ボランティア
からの声

参加者 からの声

● 羽根木プレーパークは楽しみにしているプログラムの一つなので、今回もとてもよかった。普段の生活では経験できないようなことをさせてもらっている子どもたちを見るのがいつも本当に楽しく、大人は大人で調理したり、お喋りしたり、ゆっくり、ゆったりと過ごせるとも貴重な時間。私自身は話すのが苦手なのですが、逆に話を聞くのは好きなので、学習会やお茶会も貴重なお話を聞けたりしてよかった。

● お花見会は、とてもアットホームで福島より早くお花見もでき、区長も参加したりと、初めてでもとても良かった。羽根木プレーパークで、お昼を参加する場合は、参加する回を重ねる度に、プレーパークのボランティアさん等とも話せることが増え、子どもも沢山遊ぶので、毎回楽しみにしている。世田谷散策は、中学生以上の大人のリフレッシュにとっても良かった。



お花見会@砧公園

● 原発事故の影響を知りつつもどこか遠い存在だと思っていた福島県が、この活動を通してぐっと身近に感じられました。外では鬼ごっこや遊具での遊びを、室内ではカードゲームなどをして遊びました。初めて会う子どもたちに緊張しながら話しかけましたが、遊んでいくうちに自然と笑顔が増え、好きなことを話してくれたり、自分から遊びに誘ってくれたりするようになり、その変化を間近で感じられたことが特に嬉しかったです。ご飯の時間も一緒に過ごし、少しずつ距離が縮まっていくのを実感しました。原発事故の影響が残る地域の子どもたちが、安全な環境で思い切り遊べる時間を提供すること—この活動の背景を知っているからこそ、無邪気に笑って全力で遊ぶ子どもの姿を目の前にすると、胸が温くなるような感慨深さを覚えました。今回の経験を通して、東京で暮らしていても、福島で暮らす人たちの思いに自分なりに寄り添うことができたように感じました。

【福島の子どもたちとともに・世田谷の会】構成団体

世田谷こどもいのちのネットワーク/世田谷市民運動 いち/NPO 僕んち/人の泉・オープンスペース“Bel”/一枚の葉を森へ/
世田谷こども守る会/認定NPO法人 プレーパークせたがや/優れたドキュメンタリー映画を観る会/「月桃の花」歌舞団・世田谷/
世田谷区教職員組合/自主保育 野毛風の子/神戸をわすれない・せたがや/SAN/NPO法人 野沢3丁目遊び場づくりの会/
自主ようちえん ひろば/NPO法人 世田谷マンション管理組合ネットワーク

【協力団体】生活クラブ運動グループ世田谷地域協議会